

# 1. 多文化共生社会の構築を推進する事業

## 多文化共生社会づくり推進事業

### (1) 多文化共生のまちづくりサポート事業

#### ① 多文化共生オフィス運営事業

##### ・相談窓口

多文化共生オフィスにおいて、多言語での相談及び法律、出入国に関する相談業務を実施しました。また、外国籍児童：生徒とその保護者のための教育相談を受け付け、情報提供、アドバイスを行いました。

相談件数 5,200 件

#### 多文化共生オフィスオープン時間 11:00 ~ 18:00

●日本語、英語、中国語、フランス語	随時	11:00 ~ 18:00
●中国に関する相談 *	毎週火曜日	13:00 ~ 17:00
●ドイツに関する相談 *	毎週水曜日	13:00 ~ 17:00
●韓国に関する相談 *	毎週木曜日	13:00 ~ 17:00
●アメリカ（8月よりカナダ）に関する相談	毎週金曜日	13:00 ~ 17:00
●タガログ語	第2水曜日	13:00 ~ 17:00
●スペイン語	第1金曜日	13:00 ~ 17:00
●韓国人のための生活相談	第4水・木曜日	13:00 ~ 17:00
●中国人のための生活相談	毎週水・金曜日	13:00 ~ 18:00
●出入国管理法及び難民認定法に関する相談 **	第1水曜日	13:00 ~ 15:00
●外国人のための無料法律相談 **	第3土曜日	14:00 ~ 16:00

\* 熊本市国際交流員相談

\*\* 前日の午前中までに予約が必要

##### ・市政だよりの多言語化

情報（語学）ボランティア登録者に協力いただき、市政だよりの生活・催し・健康の中から在住外国人にとって必要な情報を多言語（英語、中国語、韓国語）に翻訳しホームページへ掲載しました。その他、有益と思われる情報を随時翻訳し、1F エントランスロビーおよび2F 交流ラウンジに掲示しました。

##### ・KIFニュース

KIFの主催するセミナー・交流会・講座の他、民間国際交流・協力団体が実施する催し物情報を、毎週1回、メールマガジンとしてインターネットで配信しました。

登録者数 447 人

##### ・生活情報 e メールマガジン

携帯メールを利用して、「あんしん・あんぜん 災害・生活情報 e メールマガジン」に登録いただいた外国人の方々に、やさしい日本語、英語、中国語で、定期的に生活情報・イベント情報を配信しました。

毎月10日配信

登録者数 218 人

(内訳：英語 140 人、中国語 28 人、日本語 50 人)

②多文化共生地域サポート事業

区保健子ども課等の依頼に応じ、直接地域に出向き、多言語で在住外国人の健康、生活、子育て等のサポートを訪問型で行いました。

活動件数：18件

【国籍別】

単位：人

中国	インドネシア	エジプト	バングラデシュ	韓国	ネパール	ルーマニア	イギリス
6	3	3	2	1	1	1	1

【性別】

単位：人

女	男
16	2

【相談内容】

単位：人

保健衛生（通訳含む）	12	生活	2
教育（編入・日本語）	3	就労	1

・多文化共生ソーシャルワーカー活動

外国人の在住形態が多様化し、彼らの抱える課題、問題が多様化する中、それらの課題や問題解決までのサポートを、各種公的機関や民間の支援団体と協力しながら実施しました。

活動件数：7件

【国籍別】

単位：人

中国	韓国	チリ
5	1	1

【性別】

単位：人

女	男
6	1

【相談内容】

単位：件

生活全般（子どもの発達含む）	2	国際結婚・離婚（裁判）	1
教育（編入・日本語）	4		

・多文化共生クラスター

熊本県立大学の学生と共に、多文化共生社会の実現に向け、外国人を取り巻く問題について、特に、子どもの教育、各国の移民制度などをテーマに学習会を開催しました。

実施回数／参加者数 5回／71人（延べ数）

③多文化共生月間事業

・多文化共生写真展「あなたの街に暮らす外国人たち」

期 間：平成25年2月4日～2月28日

場 所：国際交流会館 1F エントランスロビー

内 容：KIFの多文化共生の取り組みや熊本市の外国人登録状況、熊本市内や周辺に暮らす外国人たちからの顔写真付きメッセージ、在住外国人による書道作品を展示しました。



## ・多文化共生シンポジウム

多文化共生社会の実現に向けた啓発のためのシンポジウムを「国際結婚」をテーマに開催しました。日本人と国際結婚している在住外国人をパネリストに招いて、それぞれ異なる文化風習を如何にして克服しているかなどについてディスカッションを行いました。



日 時：平成 25 年 2 月 17 日（土） 14:00 ～ 16:00

場 所：国際交流会館 4F 第 3 会議室

参加人数：55 人

内 容：＜一部＞「日本国内での国際結婚の現状～苦労話あれこれ～」

講師：羽賀 友信氏（長岡市国際交流センター長）

＜二部＞ディスカッション「国際結婚、熊本での暮らし」

（ゲスト）

アリ・ジャファール氏（パキスタン出身）

内川ラニー氏（フィリピン出身）

長嶋リータ氏（フィンランド出身）

ヒラリー・マンガ氏（タンザニア出身）

（コメンテーター）

羽賀 友信氏

八木 浩光（KIF 事務局長）

## （2）日本語支援事業

### ①くらしのほんどくらぶ

在住外国人が熊本での生活に早く順応できるよう、生活日本語や日本の習慣・文化を学ぶ「くらしのほんどくらぶ」を開催しました。日本語学習をサポートするボランティアと、一対一や小グループで学習を行うと共に、交流会を実施しました。

活動日：毎週水曜日、日曜日 10:00 ～ 12:00、  
14:00 ～ 16:00、  
18:30 ～ 20:00 \*水曜のみ

学習者：延べ 3,465 人

ボランティア数：延べ 3,050 人

場 所：国際交流会館 2F ミーティングルーム、  
交流ラウンジ



交流会（対象：学習者とボランティア）

●月見団子づくり

日 時：平成 24 年 9 月 30 日（日） 14:00 ～ 16:00

場 所：国際交流会館 4F 第 3 会議室

参加人数：44 人



●クリスマス飾り折り紙体験

日 時：平成 24 年 11 月 25 日（日） 14:00 ～ 16:00

場 所：国際交流会館 2F 交流ラウンジ

講 師：KIF サポートセンターボランティア

参加人数：24 人



●年末交流会

（くらしのほんごくらぶ 10 周年記念祝賀会）

日 時：平成 24 年 12 月 23 日（日） 13:00 ～ 16:00

場 所：国際交流会館 4F 第 3 会議室

参加人数：58 人



●茶道体験（初茶会）

日 時：平成 25 年 1 月 6 日（日） 14:00 ～ 16:00

場 所：国際交流会館 B2F 多目的ルーム

参加人数：24 人

●書道体験（書き初め）

日 時：平成 25 年 1 月 20 日（日） 14:00 ～ 16:00

場 所：国際交流会館 B2F 多目的ルーム

講 師：KIF サポートセンターボランティア

参加人数：26 人

●お花見交流会（2 回開催）

日 時：平成 25 年 3 月 27 日（水） 12:10 ～ 13:30

場 所：国際交流会館 4F 第 3 会議室（雨天のため）

参加人数：36 人

日 時：平成 25 年 3 月 31 日（日） 12:10 ～ 13:30

場 所：熊本城内

参加人数：30 人



## ②初級日本語集中講座

国際結婚等により日本に来て間もない、または、日本語の基礎文法を学んだことのない外国人を対象に、1週間（1日6時間）集中的に日本語の文法や文型を学ぶ講座を開講しました。

- 期 間：1) 平成24年6月3日～10日  
2) 平成24年9月2日～9日  
3) 平成24年11月4日～11日  
4) 平成25年2月3日～10日

※期間中1日休み、最終日は成果発表会&交流会を実施

時 間：9:30～16:30

講 師：島山 真一氏（尚綱大学准教授）  
竹村 朋子氏（外国から来た子ども支援ネット）  
岩谷 美代子氏（外国から来た子ども支援ネット）  
水洗 直子氏（日本語教師）  
定永 祐子氏（日本語教師）  
式 潤子氏（日本語教師）  
福島 奈緒美氏（日本語教師）

学習者：16人（各4人）



## ③地域日本語教室（武蔵ヶ丘・健軍教室）

〈武蔵ヶ丘教室〉

開催日：毎週火曜日 10:00～11:30  
場 所：ご近所くらぶ寄り道（武蔵ヶ丘団地内）  
講 師：生活日本語ボランティア  
学習者：延べ46人（協力ボランティア 延べ56人）  
参加費：500円/月（会場使用料として）

〈健軍教室〉

開催日：毎週月曜日 10:30～12:00  
場 所：よって館ね（健軍商店街ピアクレス内）  
講 師：生活日本語ボランティア  
学習者：延べ46人（協力ボランティア数 延べ38人）  
参加費：無料

## ④日本語漢字教室（かんじのけいこ）

日本人の配偶者や留学生の家族等非漢字語圏からの外国人生活者を対象に、それぞれのレベルに対応した漢字学習教室を開設しました。

### ● 1、2年生コース

期 間：平成24年5月～平成25年3月 毎週火曜日 10:00～11:30  
場 所：国際交流会館 2F ミーティングルーム  
講 師：生活日本語支援ボランティア  
学習者：延べ63人  
参加費：100円（但し、コピー用紙などの実費代として）

● 3、4年生コース

期 間：平成 24 年 5 月～平成 25 年 3 月 毎週木曜日 10:30～12:00

場 所：国際交流会館 2F ミーティングルーム

講 師：生活日本語支援ボランティア

学習者：延べ 62 人

参加費：100 円（但し、コピー用紙などの実費代として）

● 5、6年生コース

期 間：平成 24 年 4 月 木曜日 10:30～12:00

※実質 1 回のみ開催

学習者：1 人

⑤中国帰国者のための日本語教室

中国帰国者の方々の生活支援の一環として、日本語教室を行いました。

期 間：平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月 毎週火曜日 19:00～21:00 43 回 / 年

場 所：国際交流会館 4F 第 2 会議室他

講 師：堂園 和子氏（中国残留孤児等対策協議会）

学習者：延べ 146 人

参加費：無料

共 催：中国残留孤児等対策協議会

⑥日本語ボランティア研修

日本語教室で活動するボランティアを対象に、日本語指導方法や教材選定について研修会を開催しました。

日 時：①平成 25 年 3 月 9 日（土）13:00～16:30

②平成 25 年 3 月 10 日（日）13:00～16:30

場 所：①八代会場（八代ハーモニーホール）

②熊本会場（熊本市国際交流会館）

参加人数：70 人（① 16 人 / ② 54 人）

参加費：無料

内 容：＜一部＞地域日本語教室の役割

講師：貞松 明子氏（佐賀県日本語支援カスタネット代表）

＜二部＞熊本県の在住外国人の現状と日本語教室

講師：岩谷 美代子氏（外国からきた子ども支援ネット）

＜三部＞日本語模擬授業

講師：有瀬 尚子氏（佐賀県日本語学習カスタネット副代表）

＜四部＞ボランティア教室の教材を考える

講師：竹村 朋子氏（外国から来た子ども支援ネット代表）



### (3) 外国人のための防災事業

#### ①防災訓練

在住外国人を対象に、日頃からの防災意識を高揚させるため、熊本市広域防災センター（中央消防署）で災害体験（地震や火災、台風など）を実施しました。

日 時：平成 24 年 11 月 4 日（日） 14:00 ～ 16:20

場 所：熊本市広域防災センター

参加人数：60 人

中国人 26 人、韓国人 13 人、フィリピン人 5 人、インドネシア人 2 人、ベトナム人 2 人、南アフリカ人 2 人、カナダ人 1 人、ドイツ人 1 人、英国人 2 人、米国人 1 人、日本人 5 人



#### ②防災カード配布

国際交流会館で日本語を学ぶ外国人を始め、留学生等へ日本語、中国語、英語、韓国語で作成した各防災カードを配布しました。また、内容の見直しを行い、改訂版を作成しました。

#### ③災害メール

生活情報メールマガジンの配信システムを活用し、登録者に災害情報を日本語・中国語・英語の各言語で配信しました。特に平成 24 年 7 月に発生した九州北部豪雨の時には、災害情報、避難情報をタイムリーに配信しました。

### (4) 外国籍の子どもの教育事業

#### ①進路ガイダンス

帰国者の呼び寄せや国際結婚などで来日する外国にルーツを持つ子どもたち及びその保護者を対象に日本の教育システムや高校受験の際の特別措置・配慮について説明するガイダンスを開催しました。また、先輩高校生や高校教師とのグループ相談会を実施しました。

日 時：平成 24 年 7 月 8 日（日） 13:30 ～ 17:00

場 所：国際交流会館 6F ホール

参加人数：109 人

中学生 22 人、保護者 19 人、小中高教師 20 人、通訳 8 人、先輩高校生 15 人、スタッフ（ボランティア大学生・日本語教師など）18 人、県市教育委員会 2 人、他 5 人

参加費：無料

#### ②子ども支援ネット会議

外国にルーツを持つ子どもたちが増え、彼らの日本語教育に対する対応が受入れ先で違ったり、学校に馴染めず不登校になったりしている現状について、教員や日本語教師等が集まり、情報交換を行うと共に、改善策、支援方法について話し合いをしました。

③連携事業：熊本市日本語支援センター校との連携

日本語支援センター校（黒髪小学校・桜山中学校）での日本語教室開講式でKIFの支援活動を紹介すると共に、中国語、英語の通訳を行いました。

また、イスラム教の児童・生徒が多く在籍する黒髪地区の黒髪小学校で、学校給食や水泳等について保護者説明会で通訳・文化サポートを行いました。